

連合・第18回定期大会に参加

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう！



～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

10月5日～6日の2日間にわたり、連合第18回定期大会が都内のホテルで開催され、生保労連から代議員として18名が参加しました。

冒頭、芳野会長は挨拶で、賃上げの流れを2024春季生活闘争につなげていくように強く呼びかけるとともに、18期を迎えるにあたり、特に力を入れて取り組みたいこととして、①ジェンダー平等・多様性推進、②「社会的な対話」を挙げ、「組織拡大、組織の魅力化、情報発信、政策・制度の実現、そして、政治の取り組みなど連合のあらゆる取組みのプラットフォームであると言っても過言ではない」として、その重要性を訴えました。

今大会では、この2年間の活動報告がなされるとともに、今後2年間の運動方針が提



▲力強く語る芳野会長

案され、活発な質疑応答を経て確認されました。

また、役員選出では、芳野友子会長をはじめ、生保労連・勝田委員長（連合中央執行委員）を含む61名の新役員が選出されました。

最後に、「私たちは、大会スローガンである『社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ安心社会をめざす～』のもと、すべての働く仲間にとって『必ずそばにいる存在』として、組織全体で思いを一つにし、労働組合の社会的価値を広く訴えながら、力強く運動を進めていく」との「大会宣言」が採択され、役員・参加者全員のがんばろう三唱で決意を確認し合い、閉会しました。



▲新役員の選出の様子